

令和6年度 学校評価

1 学校目標

神社神道を建学の精神とし敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。
生徒の才能と適正を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

2 中期目標

1 学校運営

- (1) 神社神道の精神である「浄明正直」を実現する
 - ア、授業・学校行事を通して神社神道の「こころ」を体得する
 - イ、奉仕活動を積極的にを行い奉仕の精神を養う
- (2) 教員研修の充実
 - ア、道徳教育推進委員会による道徳研修会の実施
 - イ、ICT教育推進のため各種研修会・発表会・見学会の参加
- (3) 学校施設の充実
 - ア、学習施設の整備充実
 - イ、校内学習補助機材等の充実
- (4) 危機管理体制の確立
 - ア、水・食料・レスキューシーートの備蓄
 - イ、防犯訓練・避難訓練の実施（大阪880万人訓練の日）

2 基本的生活習慣の確立

- (1) 人権教育
 - ア、生活実態調査
 - イ、道徳の授業と関連させた人権教育
- (2) 生活指導
 - ア、正門での登下校時の指導
 - イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施
 - ウ、服装・頭髪等の指導
 - エ、中学朝礼での、生徒生活指導部長、教務進路指導部長から注意
- (3) 講演会、講習会の実施
 - ア、薬物乱用防止教室の実施
 - イ、防犯教室の実施
 - ウ、人権研修会
 - エ、ネット犯罪防止教室の実施
 - オ、自転車通学者講習会の実施

3 学力向上と進路

- (1) 教科指導の強化
 - ア、教員研修会の実施
 - イ、道徳教育の実践による教員のスキルアップ
- (2) 英語教育の強化
 - ア、英語検定全員受検と受検のための指導
 - イ、イングリッシュキャンプの実施
 - ウ、オンライン英会話の実施
 - エ、土曜日3Sでの英語関係の取り組みの推奨（外部講師、本校教員による）
 - オ、語学研修の実施
- (3) 講習等の実施
 - ア、放課後講習の実施〔すらら（自立学習支援システム）の活用〕
 - イ、長期休暇中の講習実施〔すらら（自立学習支援システム）の活用〕
- (4) ICT教育の推進
 - ア、ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
 - イ、生徒に1人1台のChromeBookの配付
 - ウ、研究授業実施（電子黒板・ChromeBookを活用した授業研修）
- (5) 外部講師による特別授業の実施
 - ア、道徳授業
 - イ、防犯教室

4 保護者地域に開かれた学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
 - ア、年二回の授業参観の実施
 - イ、学期毎の成績懇談の実施
- (2) 保護者との連携と情報発信
 - ア、保護者参加型の行事を実施
 - イ、Classi及びホームページでの情報発信
- (3) 地域活動への参加
 - ア、地域のイベントへの参加
 - イ、吹奏楽部定期演奏会（フェニーチェ堺）
- (4) 奉仕委員会
 - ア、地域での奉仕活動

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
学校運営	(1) 神社神道の精神である「浄明正直」実現	ア、授業・学校行事を通して神社神道の精神を学び成長の糧とする。毎月一日の学院神社参拝、伊勢HR合宿を実施。	学校の中心的な取り組みとして、道徳の授業・総合的な学習の時間と関連させて実施する。	行事（一斉参拝・春季例祭・秋季例祭・伊勢HR合宿）と授業（総合神道・道徳）を連携させて実施する。
		イ、奉仕活動を積極的に実施し、奉仕の精神を養う。	車いす神社参拝プロジェクトの実施	9月21日に住吉大社で実施。38名の生徒が参加し車いすの方の参拝をお手伝いした。
	(2) 教員研修の充実	ア、道徳教育推進委員会による道徳研修会の実施。	学校内での研修会と外部の研究会への参加	今年度は実施なし。
		イ、外部講師を招いて、教職員全員対象の研修会を実施	「不登校生徒の予防と対応」テーマについての研修を実施	2月29日に工藤弘先生（長野県安曇野市）を講師に迎え教員研修を行った
		ウ、ICT教育関連の研修会・発表会・見学会の参加。	研修会、発表会、見学会の参加。研究授業の実施	各教科ともICT機器を積極的に用いた授業展開を実施した。5月18日には教職員ICT研修会を実施した。
	(3) 学校施設の充実	ア、学習施設の整備充実	常に、必要な教材等の検討を行う。生徒にとって必要な機器の充実を検討する。	Chromebook の購入・活用。特別 I C T 教室の活用。
		イ、校内学習補助機材等の充実		
		ア、水・食料・レスキューシートの備蓄を実施する	全校生徒最低 1 日分以上を確保する。	総務部を中心に規定数を確保。学校倉庫にて保管。
		イ、防災訓練、避難訓練の実施	洪水が発生した場合を想定して実施	9月3日に実施した。
		ウ、住吉消防署による防災研修	年1回、中2対象で実施	本年度は実施せず。
基本的生活習慣の確立	(1) 人権教育	ア、生活実態調査	各学年 1 学期に 1 回実施	4月11日に調査を実施。担任から生徒生活指導部長そして管理職へと情報を共有し、迅速な対応を実施した。
		イ、講演会及び体験学習の実施	各学年2学期に実施	11月14日に「未来の君が待つ場所へ」と題しいじめ、落ちこぼれをテーマに宮本延春 氏を講師に迎えて実施した。
		ウ、道徳の授業と関連させた人権教育	道徳教育推進委員会で検討実施	計画通り実施した。
	(2) 生活指導	ア、正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施しており、問題発生件数は昨年度に比べて減少した。
		イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態調査アンケートの実施	学期に 1 回実施	今後も継続的な指導が最も効果的であると確信して、日々の指導を充実させていく。 10月3日に教職員対象のいじめ研修会を実施した。
		ウ、服装、頭髪等の指導	月 1 回の全体指導	予定通り実施した。
		エ、中学朝礼での生徒生活指導部長からの注意	月 1 回の全体指導	予定通り実施した。
	(3) 講演会、講習会の実施	ア、薬物乱用防止教室	中高合同で実施	11月21日に中 1 ・高 1 で実施した。
		イ、防犯教室	中高合同	12月6日に実施した。
		ウ、人権研修会	各学年で実施	11月14日・1月23日に実施した。
		エ、ネットトラブル防止教室	中高合同	4月6日に実施した。
		オ、自転車通学者講習会	中学で実施	1年生は4月6日、2・3年生は4月13日に実施。
学力向上と進路	(1) 教科指導力の強化	ア、教員研修会の実施。	教科別研修会の実施。	研修会を重ねながら、日々の教育実践につなげている。定期試験前後で、各教科から資料の提出を義務づけた。生徒それぞれのレベルにあった対応ができるように、日々の研鑽が必要である。
		イ、道徳教育実践による教員のスキルアップ。	毎週の道徳授業の実践。	
	(2) 英語教育の強化	ア、英語検定の全員受験	3 学期に実施	5月31日に中 1 は全員、2、3 年は希望者での実施、1 月17日に全員受験を実施した。
		イ、イングリッシュキャンプの実施	夏休み中に校内で実施	8月20日～23日に多聞尚学館にて実施した。
		ウ、オンライン英会話の実施	各生徒、毎週 1 回の実施	授業として週1回実施した。
		エ、土曜日 3 S での英語関係の取り組みの推奨	2 学期から実施	外部講師、本館教員による特別講座を複数回実施を行った。
		オ、語学研修の実施	3 月に校外で実施	3月9日～16日海外語学研修をオークランド（ニュージーランド）にて実施した。
	(3) 講習等の実施	ア、放課後講習の実施	全学年 1 類生徒への講習を実施。すらら（自立学習応援プログラム）を活用。	毎週火曜日と金曜日に実施した。
		イ、長期休暇中の講習実施		計画通り実施した。
	(4) ICT教育の推進	ア、ICT教育先進校、研究会、展示会参加。	学校訪問・研究会・展示会に参加。電子機器を使用した研究授業を実施。	I C T 教育の充実をすすめ、電子黒板・Chromebook を活用した授業展開している。 1 人 1 台のChromebook を完備。
		イ、生徒に 1 人 1 台のChromebook を配付	中学1年生全員に、Chromebook を配付。	
		ウ、研究授業の実施	電子黒板・Chromebookを使用した授業実践	
	(5) 外部講師による特別授業（出前授業）の実施	ア、道徳の専門家による道徳の授業	道徳教育推進委員会により実施	7月30日に実施した。
		イ、警察官による防犯教室	住吉警察署と連携して実施	12月6日に実施した。

保護者地域 に開かれた 学校づくり	(1) 保護者による授業参観と 懇談	ア、授業参観の実施	年2回（4月・11月）の実施	4月27日および11月22日に実施した。
		イ、成績懇談の実施	学期ごと（7月・12月・3月）の実施	7月・12月・3月に、保護者・生徒・担任の3者で 実施。希望者にはリモートで実施。
	(2) 保護者との連携と情報発 信	ア、保護者参加型の行事を実施	学期ごとに実施	浪速祭・耐寒登山をPTAと協力をして実施した。
		イ、classi及びclassroom、ホームページによる情報 発信	classi及びclassroom、HPを活用した保護者への情報 提供。	ホームページの充実を心がけ、スクールウォッチで 学校での出来事を常に発信した。classroomを利用し て、保護者連絡を実施。
	(3) 地域活動への参加	ア、地域のイベントに参加	積極的に参加する	6月24日・7月17日に住吉区民センターにてレイン ボーコンサートを実施した。
		イ、吹奏楽部定期演奏会（フェニーチェ堺）	3月に実施	吹奏楽部定期演奏会は 3月27日に実施をした。
	(4) 奉仕委員会	ア、地域清掃奉仕活動	年3回実施	今年度クリーンアップ作戦は実施しなかった。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
○生徒 授業アンケートの結果によると、生徒の90%以上が学校生活を楽しく過ごしているとの結果が出ている。授業に関しては、64%の生徒が「理解しやすくレベルが丁寧良い」とし、24%の生徒が「レベルが高く満足している」と答えており、合わせると昨年度より3%数値が上昇し、9割近い生徒が満足していると答えている。全ての授業においてレベル・進度共に適切であり、ICTをうまく活用されていて、非常にわかりやすく、板書も見やすいとの意見が大半である。他方「レベルが高すぎてついていけない」と答えた生徒が8%居り、内容理解に時間がかかる生徒に対する対応の改善が必要と考えられる。また、昨年度に比べ、ベル着ができていない生徒の割合は25%から3%と大幅に改善した。ただし、教科の内容に関しては、13%の生徒が興味ないと感じており横ばいの状態であり、引き続き対策が必要である。家庭学習の時間は、「すらら」（学習支援システム）の影響もあって年々増加している。9割近くの生徒が何らかのクラブに所属しており、部活動に対する生徒の気持ちの強さは毎年高く、多くのクラブで素晴らしい結果を残している。本校の目標である文武両立を達成するために、日々努力している様子が伺える。 ○保護者 4月および11月に授業参観を実施し、終了後、Google Formsで保護者アンケートの提出を求めた。アンケートの結果は、とても良かった（68%）、良かった（28%）を合わせると96%となり好評だった。個別のご意見では「電子黒板を使った効率の良さがわかりました。」や「クラスの雰囲気良く安心した。」「入学以来、中学校生活を心から楽しんでいるようです。」 「グループ内での発表もしっかり出来ていて、楽しそうに授業を受けることが出来ていたと思います。」「Chromeブックを活用しながら英語の音源をすぐにきけたり、将来のやりたいことを英語で調べたりするのでよかったと思います。」などが寄せられており保護者からは非常に高い満足を感じている。 ○教職員 全教職員のアンケートによると、学校運営については、建学の精神や愛校心、校内教員研修の充実についてもほぼ100%の教職員が達成したと評価をしている。新型コロナウィにより一旦縮小された地域との交流についての項目は昨年よりはは改善したが、以前と若干低めにとどまっている。地域と共同で清掃活動をするなどの提案がされているが実現していない。 教育内容については、全ての項目でほぼ100%の評価となっており、授業の質を高める努力やきめ細かい指導の必要性を、本校の教職員が重要と考えているといえる。 危機管理の項目では、昨今の自然災害の多発化による影響か、より実践的な訓練を希望する声が複数あり、次年度4月に教員のための避難訓練を予定している。また、内部進学が前提の為将来の進路に対する意識が弱いと答えている者も居り、職業や生き方に関する講演や学習機会の確保を検討する。 ○分析 浪速中学校の教育環境に関しては、三者（生徒・保護者そして教職員）とも非常に高いレベルにあると感じている。その中でも特に目立っているものは、ICT機器を利用した授業、習熟度別授業の実践（2クラス3展開の授業スタイルは好評）、部活動の充実（全国大会出場クラブの増加）、HPの積極的な活用 （特にスクールウォッチの掲載）、保護者連絡システムの充実と言える。 浪速中学校では、生徒の様子を常に細やかに観察し、問題の未然防止・早期解決につなげる努力をしている。その面倒見の良さが本校の教育の最重要項目であると考えられている。 また、自らの考えを伝える能力を育成するために、道徳教育を通して行うことはもちろんのこと、英語4技能の強化を通しても行っている。更なる教育の向上を目指して進んでいくべきと考えている。	・88%の生徒たちが満足し、内100名弱の生徒が高いレベルで満足 とは素晴らしい状況です。 ・中学ですので50名弱の生徒たちの中で8%のお子さんがついていないという実態があるのなら、その生徒さんのためにも内容分析 が大切だと思います。 ・斬新的な、3Sの積極的な活動に期待致します。 ・今の自分に何が必要なのか。これからの時代に何が必要なのか。を真剣に考えてもらいたと思います。勉強やクラブ活動・友人関係やその他の活動など大いにチャレンジしてたくさん経験をしていてもらいたいです。 礼儀正しく先生の指導をしっかりと聞きになり、聡明な方が沢山おられます。 個々に目的を持ち、自分のレベルアップを常にチャレンジされているようにお見受け致します。 新校舎もでき、なおいっそう力強く学園生活をお過ごしになられています。日々の成長していく姿を拝見するのが楽しみでなりません。 ・生徒の9割以上が学校生活を「楽しい」と回答していることは、生徒が安心して過ごせる教育環境が形成されていて、学習面・生活面において学校が大きな土台となっていることに間違いはないと思います。教科への関心については「興味を持っていない」生徒が13%で横ばいの状態なので、興味喚起のための工夫、例えば「探究型の授業」や「実生活との関連性を意識した題材」などを取り入れることが求められるかもしれません。 「すらら」の導入で家庭学習時間が増加していることは非常に素晴らしいことで、今後は学習時間だけでなく、「学習の質」や「自律的な学びの習慣化」に注目し、更にレベルアップを図っていただきたいと思います。 生徒の9割近くが部活動に所属し、成果も上げているところから日々成長していく姿がたくましく感じました。 ・保護者の方々の評価も高く素晴らしいですね。 ・コロナ禍もあけ、以前の様に学校行事等が戻ってきています。今後のPTA活動をしていく中で、コロナ禍の影響等も踏まえ、今後は今まで以上に保護者の皆様に活動に参加していただける様に考えていきたいと思っています。 ・常にアップデートする学校の取り組みにご満足され、学校行事にもご家族で参加される事が多くお見受け致します先生や学校にご満足なせています。 ・授業参観では日頃の授業風景を見ることができ、学校教育活動への保護者の信頼が高まったと思います。 「電子黒板を使った効率の良さ」、「Chromebookによる英語音声・検索活用」などを活用しながら生徒が主体的に学んでいるのを見ることで保護者の満足度がもっと高まったと感じます。 「家庭と学校が連携した教育の推進」という観点からも授業参観は、今後も継続していただきたいと思っています。 ・中学生といっても小学生の延長ですので、生徒・保護者間と一体と なって日々のお疲れ様です。 ・今まで以上に学業の授業や生活指導をお願いしたいと思っています。若い教職員も増えているかと思いますが。教育関係の研修会や講習会等のもではなく一般社会の事を学んでいく必要があると思います。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思います。 ・中学ファミリー的な温かい雰囲気とても心地いい職員室に感じます。常に生徒さんと膝突き合わせて懸命に指導なされるお姿は感銘を受けます。伝統の面倒見がいいご指導には私どもも勉強になり見習っていこうと思います。とにかく 明るい職員室の雰囲気は素晴らしいです。 ・浪速中学校の先生方は本当に教育熱心で、質の高い教育環境を提供してくださっています。 生徒思いが強く、一人ひとりにきめ細かいご対応をされているので、保護者として安心して子供を預けることができると 생각합니다。 地域連携の再活性化や、進路意識形成、実践的危機管理の強化といった今後取り組むことも明確になっているので、今後がもっと楽しみです。 ・建学の精神を基として人としての教育をお願いいたします。 ・家庭内及び先生方との言葉のキャチボールができる人の育成をお願いいたします ・今回の新型コロナウイルスの件で、いつ何ができるかわからない時代になりました。5G時代になる事によって、またさらなるオンライン化が動めやすくなるかと思いますが。いかなる事にも素早く対応できる様に、危機管理を最大限に持って、素早く対応できる様に準備していただきたいと思います。 浪速ならではの教育を進めていただきたいと思います。 ・新校舎もでき、新たな環境で学べると感じます。 ・ICT教育も素晴らしいのですが、学校に来ていない生徒がいるようです。かなり難しい問題かと思っています。担任の先生だけでなく、管理職やベテランの教員も相談に乗り、保護者と連携をとって、少しでも改善できたらいいかと思っています。 ・浪速中学校の環境はすべてにおいてハイレベルだと感じています。 特に教職員の責任感の強さ、面倒見の良さは学力向上だけではなく、生徒達の学校生活の充実さ、高いレベルでの部活動との両立を実現したのではないかと感じています。 更に、「三者評価が一致して高い」ことは、浪速中学校の信頼性の高さを裏付けるもので、保護者も安心して子供を通わせることができます。 引き続き「自律した学び」とコミュニケーション能力を育む教育を期待いたします。

4 令和6年度の対策とその結果 および令和7年度に向けた改善について

・授業に興味が無いと答えた生徒に対する対応について

アンケート結果は昨年度に比べて横ばいで大きな変化は見られなかった。中学校の新校舎が竣工し新しくそして素晴らしい教育環境を最大限活用し、より分かりやすい授業の実践を心掛け、生徒の興味関心を引き出し、習熟度別授業の利点を活かし、生徒の状況に合致した授業展開を心がける。また、3Sの取り組みと連携し、普段の授業の必要性や大切さを併せて教えていきたい。

・地域との交流の活性化について

昨年以上に学校が楽しいと答えている生徒の割合は増加している。生徒数が著しく増大した結果、浪速祭（文化祭）についても生徒保護者のみの参加とせざるを得なかった。近隣住民等の交流等については、機会が少なくすぐに元通りとはならなかった。学校の運営に関連し、近隣の方のご理解、ご協力は非常に重要であるため、実施方法等を見直し、交流を活性化させる方策を検討する。

「車いすで参拝プロジェクト」などの企画で地域への奉仕を行い好評を得た。同プロジェクトは令和7年度も規模を拡大して実施を予定している。

・学校週5日制における土曜日の活用方法について

令和6年の2学期から開始した学校週5日制+土曜日の活用について、土曜日の活用方法を高校とも共同で3S（Saturday Something Special）と名称し、特別講座の1S（OWN-Selection）と自学自習の2S（SELF-Study）、をクラブ活動と並行し実施をした。1Sは90分1コマで1日2コマ、18週で開講数は計180講座となった。

勉強の講座以外にも銀行員が講師となり金融や将来のお金の使い方についての講座や、博物館の学芸員による講義など、キャリア教育や進路ガイダンス等も取り入れ、生徒の将来につながるように工夫を行った。

受講した生徒の感想も「普段の学校では知ることができないことを学べて得をしました。」「今回の講座を受けて、投資や保険、金融のことなどについてより深く学ぶことができました。」など好意的な意見が殆どであった。令和7年度に向けて、令和6年度の人気講座を中心により生徒の興味関心に合致した講座の拡充を画策している。

・登校ままならない生徒や頻繁に早退を希望する生徒に対する対応について（継続）

丹念な声掛けや、家庭訪問、カウンセリングの促し等によりある程度減少につながった。ただ、入学前からの長期欠席の生徒などについては、変化が少なく改善にはつながらなかった。引き続き保護者と連携しこまめな対応を学校全体で一致して心掛けていく予定をしている。

・心の教育について

道徳を中心とした心の教育は本校の中心的な存在である。引き続き内容を吟味し、学校が一丸となって道徳教育を推進し、他を理解し尊重する生徒の育成に努めたい。

・より実践的な自然災害に対する備え等について

教職員のアンケートから、近年多発する自然災害により、より実践的な避難訓練や、その際の指示系統等の周知徹底について求められている。生徒数が増大し全体での避難訓練への難易度が上がっており、教員のための避難訓練の実施などを行い、事があった際に教員が慌てずに対応できる下地作りを行う。